

チャイルドシート

取扱説明書



ご使用の前に必ずお読みいただき、取扱説明書に従い正しくご使用ください。
また、いつでも読めるように大切に保管してください。

このチャイルドシートは、自動車事故などの際に
衝撃を緩和することを目的につくられた年少者用補助乗車装置です。
チャイルドシートの確実な取り付けとともに安全運転をお願い申し上げます。

製品情報・表示について

本製品は汎用型チャイルドシートです。
自動車で使用することを目的として、
協定規則44号の第4改訂版 (UN R44/04) に基づき認可されています。

グループ : O + I (対応する幼児の体重: 新生児~18kg)
カテゴリー: ユニバーサル(汎用)型

当製品は、安全、品質の確保に細心の注意を払って製造・販売しておりますが、万が一リコール等がありました場合に、速やかにお客様にご連絡し、修理等をさせていただくため、お客様登録をしていただきたいと存じます。つきましては、WEBでの登録もしくは、お客様登録カードに、お名前、ご住所、お電話番号をご記入いただき、弊社お客様登録カード係までお送りいただきたくお願いいたします。

この取扱説明書には、安全にご使用いただくために、
特にお守りいただきたいことを、次のマークで表示しています。
これらの記載内容は重要ですので、しっかりとお読みください。



警告

取り扱いを誤った場合、死亡または重大な傷害を負うおそれが想定される内容を示しています。



注意

取り扱いを誤った場合、傷害を負うおそれがある内容、または物的損害の発生が予想される内容を示しています。



アドバイス

チャイルドシートをご使用になる上で守っていただきたいこと、および知っておくと便利なことを示しています。



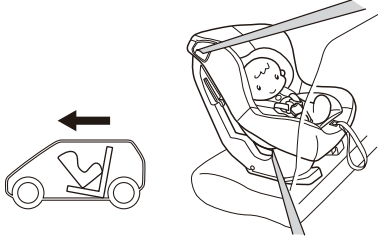

図示されている行為の禁止を示しています。

目次

製品情報・表示について	1
目次	2
ご使用前に	
使用条件と基本的な使用方法	3
緊急時には	4
各部の名称と付属品	5
車の座席について	6
車のシートベルトについて	7
ご使用上の注意	9
取付け前の準備	
肩ハーネスの高さ	13
肩ハーネスの高さ調整	14
インナークッションの取り付け	17
取付け方・外し方	
車への取り付け(後向き)	19
車からの取り外し(後向き)	24
車への取り付け(前向き)	25
車からの取り外し(前向き)	30
乗せる・降ろす	
お子さまをチャイルドシートに乗せる	31
お子さまをチャイルドシートから降ろす	34
お手入れ	
カバークッション類の取り外し	35
各部のお手入れ	39
カバークッション類の取り付け	41
補修部品について	45
保証書	46

使用条件と基本的な使用方法

チャイルドシートはお子さまの体重や体格により、使用方法が異なります。ご使用になるお子さまに合った正しい取り扱いを行ってください。

体重	参考年齢	取り付けかた
13kg未満	新生児～ 1歳半ごろ	お車の進行方向に対し、後ろ向きで使用します 
9～18kg	9ヶ月～ 4歳ごろ	お車の進行方向に対し、前向きで使用します 

年齢の範囲は、おおよその目安ですのでお子さまの体重に合わせてご使用ください。

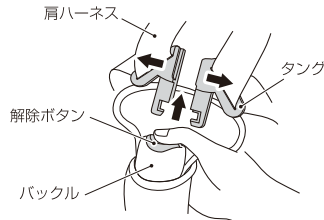


警告
お子さまの体重が9kgを超えるまでは前向きで使用しないでください。

緊急時には

事故などの緊急時は、あわてず次の手順で速やかにお子さまを救出してください。

- 1 解除ボタンを押してバックルからタングを外します。



アドバイス
可動部分に指や物を挟まないようにしてください。

- 2 お子さまを静かにチャイルドシートから降ろします。

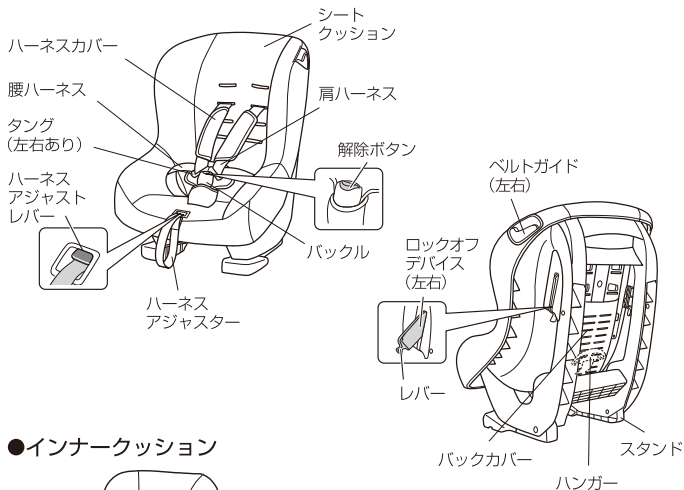


アドバイス
解除ボタンを押してもタングが外れない場合は、ハーネスを切断するなどして、お子さまを救出してください。

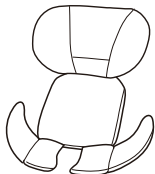
各部の名称と付属品

※シートクッション、インナークッションのデザイン(形状)は機種により異なります。

●チャイルドシート本体



●インナークッション



●取扱説明書



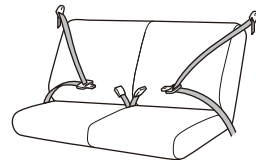
警告

梱包用のビニール袋はお子さまの手の届かないところに置か、破棄してください。
お子さまがかぶると事故の原因になるおそれがあります。

車の座席について

●取り付けできる座席

進行方向に対し前向きで、
3点式シートベルトが
付いている座席

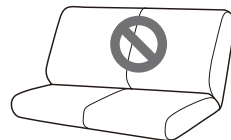


アドバイス

取り付けに際しましては、
車の取扱説明書も合わせてご確認ください。

●取り付けできない座席

○シートベルトが付いていない座席



○前方にエアバッグが
装備された座席



○横向き・後ろ向きになっている座席



○チャイルドシートを
取り付けると
運転操作の妨げや、
視界の妨げになる座席



警告

「取り付けできない座席」で使用した場合、事故時にお子さまや他の乗員が死亡または重大な傷害を負うおそれがあります。

車のシートベルトについて

●取り付けできるシートベルト

協定規則第16号(UN R16)または同等の基準で認可された3点式巻き取り装置付きシートベルトを装備した座席にて使用できます。

○ELR(緊急ロック式ベルト巻取り装置)付シートベルト

シートベルトをゆっくりと引き出すと自由に出し入れできるが、急に引く(急ブレーキなどで体が前に投げ出された時)とシートベルトがロックされ引き出せなくなるタイプ

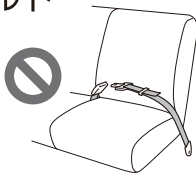


シートベルトの種類・特徴・長さの調整のしかたなど、詳しくは車の取扱説明書をお読みください。

●取り付けできないシートベルト

○2点式シートベルト

肩ベルトがなく腰ベルトの2点で固定するタイプ。



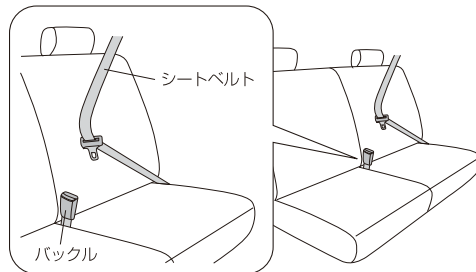
○上記「取り付けできるシートベルト」以外のシートベルト



「取り付けできないシートベルト」で取り付けた場合、事故時にお子さまや他の乗員が死亡または重大な傷害を負うおそれがあります。

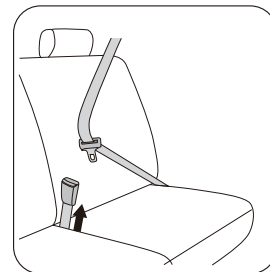
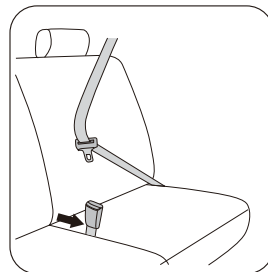
●しっかりと固定できない可能性のあるシートベルト

お車のシートベルト(バックル)の設置状況によっては、しっかりと固定できない場合があります。詳しくは販売店または弊社ホームページにある車種別適合表にてご確認ください。また、ご不明の点は販売店または弊社お客様相談室までお問い合わせください。



下記のような場合、しっかりと固定できない場合があります。

バックルが極端に前にある バックルの付け根が極端に長い



ご使用上の注意

●お子さまの乗せ降ろしについて



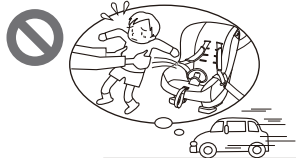
① 使用条件に適合しないお子さまには使用しないでください。事故のときに重大な傷害を負うおそれがあります。



② お子さまだけ車に残した状態で車から離れないでください。不慮の事故(熱中症やいたずらによる事故等)につながるおそれがあります。



③ 走行中は、お子さまをチャイルドシートから乗せ降ろしさせないでください。



④ ハーネスは、緩みやねじれのないようにお子さまの身体にあわせて調整してください。ねじれていると事故のときに重大な傷害を負うおそれがあります。



⑤ 腰ハーネスで骨盤がしっかりと拘束されるように、必ず腰ハーネスを低く下げて着用させてください。腹部に腰ハーネスがかかっていると、事故等のときに腹部が圧迫され重大な傷害を負うおそれがあります。



●チャイルドシートの取り扱いについて



① チャイルドシートを安全に使用していただくため、柔軟材料(専用カバー類・ハーネス類・発泡材料等)を取り外したまま使用したり、専用品以外に取り換えて使用しないでください。



② チャイルドシートのハーネスを刃物等の鋭利なもので傷つけないでください。傷ついているとチャイルドシートが正常な動きをしない場合があります。



③ チャイルドシートを車両に固定するシートベルトに、緩みやねじれのないよう確認してください。チャイルドシートにガタつきが生じ、事故時に重大な傷害を負う可能性があります。



④ 取扱説明書に記載された以上の分解や構成部品を取り外した状態での使用および指定以外の物との交換は絶対にしないでください。



ご使用上の注意

- ⑤ 事故等で車両に強い衝撃を受けた場合は、チャイルドシートにも目に見えない破損があるおそれがあるので、再使用しないでください。



- ⑥ チャイルドシートのロック部分(バックル等)には、精密な部品が組み込まれていますので、水やジュース等をかけないでください。部品の故障原因になります。



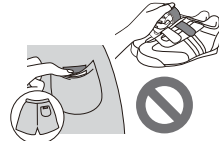
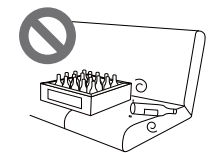
- ⑦ チャイルドシートを保管するときには、強い衝撃を与えたり、長期間屋外など日光が当たる場所に放置しないでください。



●その他こんなことにも注意して



- ① チャイルドシートに日光が当たると熱くなることがあります。大人が金属部分や樹脂部分に触れて熱さの程度を確認し、お子さまがやけどをするおそれのないことを確認の上、使用してください。
- ② 可動式座席または車両のドアにチャイルドシートの剛性部分(樹脂部分等)が挟まれないようにしてチャイルドシートを取り付けてください。
- ③ チャイルドシートにお子さまを乗せていないときでも、安全のため必ずチャイルドシートを固定してください。衝突や急ブレーキの際にチャイルドシートが移動して、傷害を負う可能性があります。
- ④ 事故発生時や乗員に傷害を与えるような物を車の中に放置しないでください。万一のとき、お子さまや乗員に当たるおそれがあり、危険です。
- ⑤ 長期間、車にチャイルドシートを取り付けることにより、座席に跡がつく場合があります。
- ⑥ お子さまの靴や服の面ファスナー(ベルクロテープ)など突起物がカバーに引っかかると、カバーを傷めるおそれがあります。

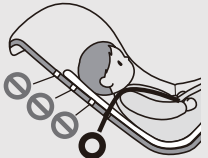



肩ハーネスの高さ

チャイルドシートの取り付け向き、お子さまの体格により、肩ハーネスの高さを調整する必要があります。

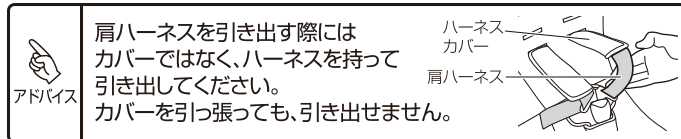
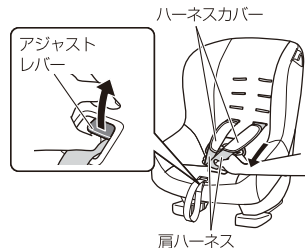


警告 肩ハーネスの高さは必ず正しい位置でご使用ください。不適切な位置で使用すると、事故時に重大な傷害を負うおそれがあります。

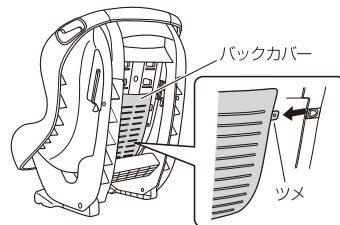
体重	13kg未満	9～18kg
参考年齢	新生児～1歳半頃	9ヶ月～4歳頃
参考身長	80cm未満	70～100cm
チャイルドシートの取り付け向き	お車の進行方向に対し、後ろ向きで使用します	お車の進行方向に対し、前向きで使用します
肩ハーネスの高さ	一番下の肩ハーネス通し穴を使用する 	肩と同じか、高い位置の肩ハーネス通し穴を使用する 

肩ハーネスの高さ調整

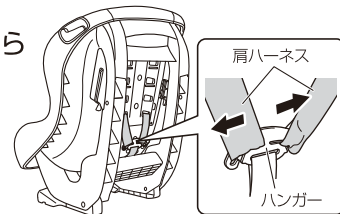
- 1 アジャストレバーを引き上げながら、肩ハーネスをすべて引き出す。



- 2 背面のバックカバーのツメ(4か所)を外し、バックカバーを取り外す。

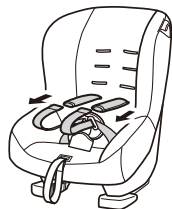


- 3 背面にあるハンガーから肩ハーネスを外す。

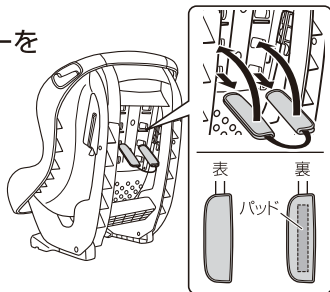


肩ハーネスの高さ調整

- ④ 正面から肩ハーネスを
引き抜く。



- ⑤ 背面からハーネスカバーを
引き抜き、適切な位置の
肩ハーネス通し穴に
差し替える。

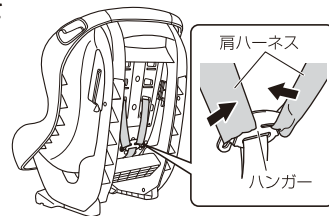


- アドバイス** ハーネスカバーには表裏があります。
パッドを裏(お子さまの肩に当たる)側にしてください。

- ⑥ 肩ハーネスをハーネス
カバー、肩ハーネス
通し穴に通し、
背面より引き出す。

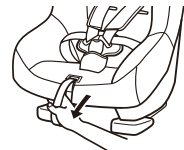


- ⑦ 肩ハーネスのねじれや半がかりが
無いように、ハーネスを
ハンガーにかける。

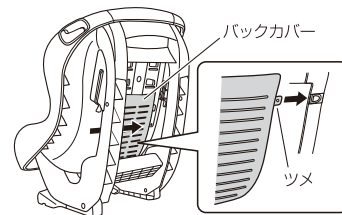


- 警告** 肩ハーネスをハンガーに正しく取り付けていないと、
事故時にハーネスが抜けるなどして、
重大な傷害を負うおそれがあります。

- ⑧ ハーネスアジャスターを引き、
ハーネスのたるみを取る。



- ⑨ バックカバーのツメ
(4か所)を差し込み
取り付ける。



- 注意** バックカバーが正しく取り付けしていない場合、
事故時に十分な機能を発揮しない可能性があります。

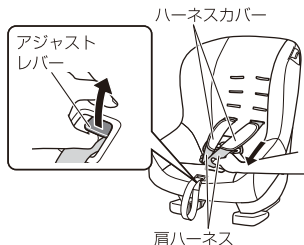
インナークッションの取り付け



工場出荷時にはすでに取り付けられています。

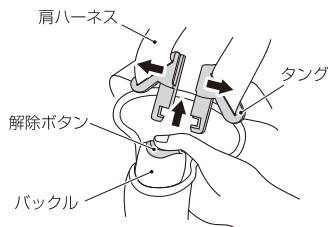
インナークッションは、お子さまの体重が7kg未満
(参考年齢6ヶ月未満)の場合にのみご使用になれます。

- ① アジャストレバーを
引き上げながら、
肩ハーネスを引き出す。

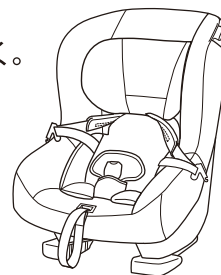


肩ハーネスを引き出す際にはカバーではなく、ハーネスを持って
引き出してください。カバーを引っ張っても、引き出せません。

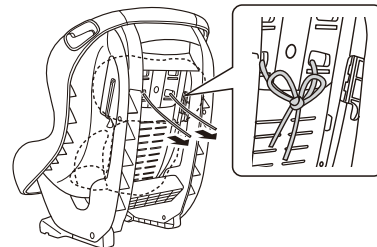
- ② 解除ボタンを押して
バックルからタングを
外し、肩ハーネスを
左右に広げる。



- ③ チャイルドシート座面に
インナークッションを置く。

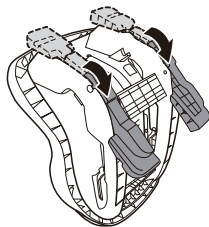


- ④ インナークッションのひもを
上から二段目の肩ハーネス通し穴に通し、
背面でしばる。



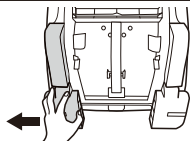
車への取り付け(後向き)

- ① チャイルドシート
底面のスタンドを
後向き取り付け位置に変える。

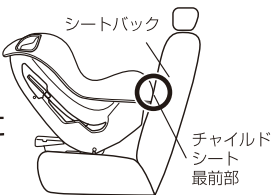


注意 可動部分に指や物を挟まないようにしてください。

アドバイス スタンドを少し外側によせてから動かすと、簡単にロックが外れ、スムーズに動かすことができます。



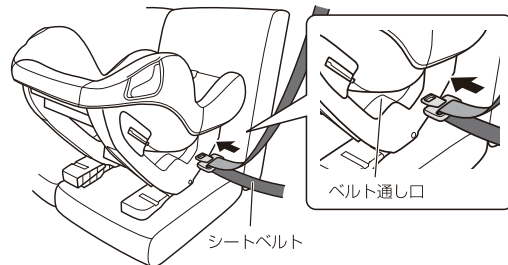
- ② 車の進行方向に対し
後向きになるよう座席に置く。
この時チャイルドシートの
最前部が座席のシートバックに
接するようにする。



アドバイス

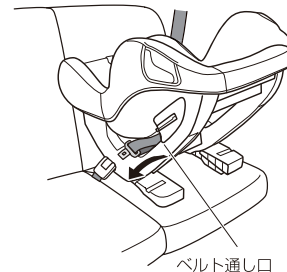
- ・座席のシートバック角度が調整できる場合は、チャイルドシートとシートバックのすき間が極力少なくなるよう、角度を調整してください。
- ・長期間、車に取り付けることにより、座席に跡がつく場合があります。チャイルドシートと座席が接する部分にタオルやシーツなどを敷くことをお勧めします。

- ③ 車のシートベルトを
ベルト通し口(シート背面)に通す。



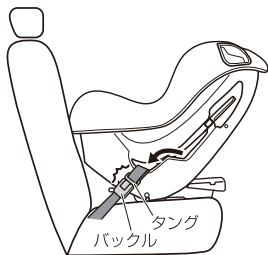
警告 ベルト通し口以外にシートベルトを通さないでください。他の箇所を使用すると事故時に重大な傷害を負うおそれがあります。

- ④ 反対側のベルト通し口から
シートベルトを引き出す。



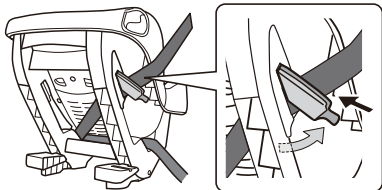
車への取り付け(後向き)

- ⑤ シートベルトが青色ラベル部を通るよう調整し(両側とも)、タングをバックルに差し込みロックする。



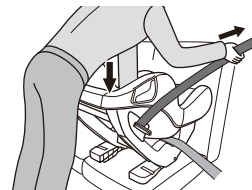
警告 バックルが確実にロックされていることを確認してください。ロックされていないと事故時に重大な傷害を負うおそれがあります。

- ⑥ ロックオフデバイスのレバーを開き、レバーの青色と本体との隙間にシートベルトを通す。



アドバイス ロックオフデバイスは片側のみ使用します。反対側は使用しません。

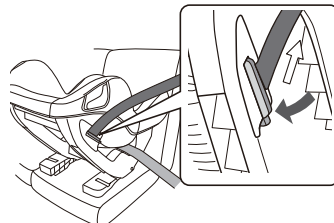
- ⑦ チャイルドシートを座席に押さえつけながら、シートベルトを引っ張り、たるみを取り除く。



アドバイス 下側のシートベルトにたるみが残る場合は、先にバックル部分のシートベルトを引っ張り、たるみを取り除いてください。



- ⑧ シートベルトを引っ張った状態でロックオフデバイスのレバーを閉じ、シートベルトを固定する。

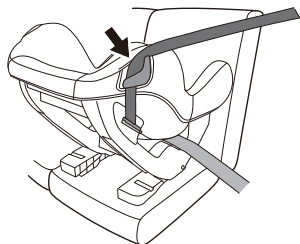


警告 シートベルトが確実に固定されているか確認してください。固定されていないと事故時に重大な傷害を負うおそれがあります。

注意 可動部分に指や物を挟まないようにしてください。

車への取り付け(後向き)

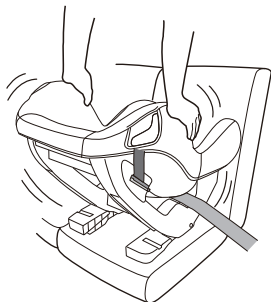
- ⑨ ベルトガイドにシートベルトを通す。



- ⑩ 取り付け後の確認

下記内容をチェックし、チャイルドシートがしっかり固定されていることを確認してください。正しく取り付けられていない場合は、最初からやり直してください。

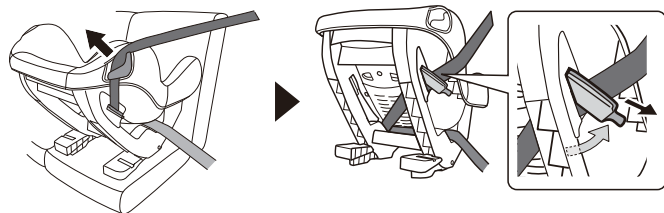
- Ⓐ 車のバックルとタングが正しくロックされている。
- Ⓑ シートベルトがロックオフデバイスの青色側を通り固定されている。
- Ⓒ シートベルトがベルトガイドを通っている。
- Ⓓ シートベルトにねじれやたるみがない。



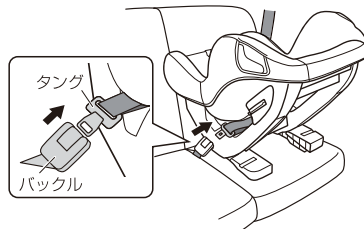
ご使用に際しては、定期的にお車のシートベルトの緩みがないか確認し、緩みがあれば再度取り付け直してください。

車からの取り外し(後向き)

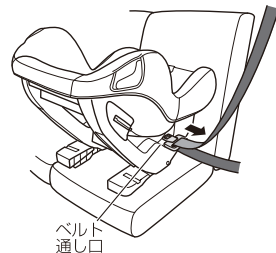
- ① ベルトガイドからシートベルトを外し、ロックオフデバイスのレバーを開き、シートベルトを外す。



- ② 車のシートベルトのタングをバックルから外す。

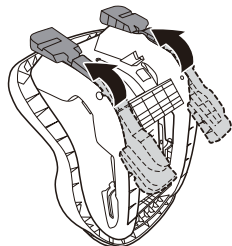


- ③ 反対側のベルト通し口からシートベルトを引き出す。



車への取り付け(前向き)

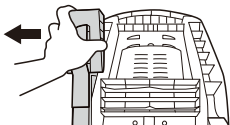
- ① チャイルドシート
底面のスタンドを
前向き取り付け位置に変える。



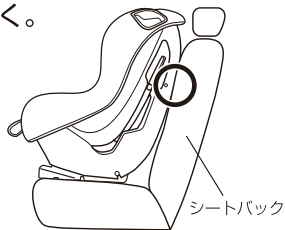
可動部分に指や物を挟まないようにしてください。



スタンドを少し外側によせてから動かすと、簡単にロックが外れ、スムーズに動かすことができます。



- ② 車の進行方向に対し
前向きになるよう座席に置く。
この時チャイルドシートの
背面が座席の
シートバックに
接するようにする。

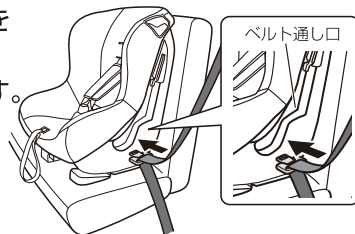


アドバイス

- ・座席のシートバック角度が調整できる場合は、チャイルドシートとシートバックのすき間が極力少なくなるよう、角度を調整してください。
- ・車のヘッドレストが当たってすき間ができる場合は、ヘッドレストの高さを調整いただくか、必要な場合は取り外してご使用ください。
- ・長期間、車に取り付けることにより、座席に跡がつく場合があります。チャイルドシートと座席が接する部分にタオルやシーツなどを敷くことをお勧めします。

③

- 車のシートベルトを
ベルト通し口
(シート背面)に通す。

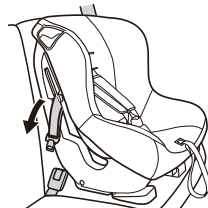


警告

- ベルト通し口以外にシートベルトを通さないでください。他の箇所を使用すると事故時に重大な傷害を負うおそれがあります。

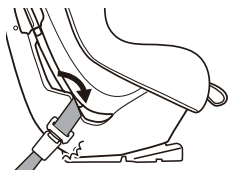
④

- 反対側のベルト通し口から
シートベルトを引き出す。



車への取り付け(前向き)

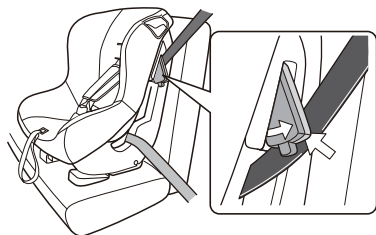
- ⑤ 腰側のシートベルトが赤色ラベル部を通るよう調整し(両側とも)、タンクをバックルに差し込みロックする。



警告

バックルが確実にロックされていることを確認してください。ロックされていないと事故時に重大な傷害を負うおそれがあります。

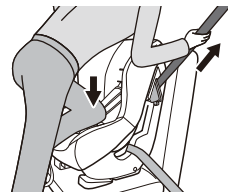
- ⑥ ロックオフデバイスのレバーを開き、レバーの赤色と本体との隙間にシートベルトを通す。



アドバイス

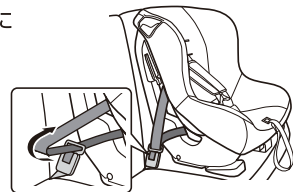
ロックオフデバイスは片側のみ使用します。反対側は使用しません。

- ⑦ チャイルドシートを座席に押さえつけながら、シートベルトを引っ張り、たるみを取り除く。

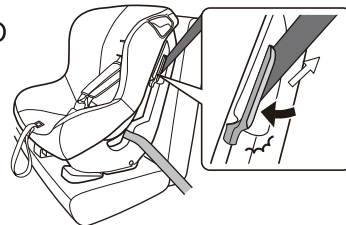


アドバイス

下側(腰側)のシートベルトにたるみが残る場合は、先にバックル部分のシートベルトを引っ張り、たるみを取り除いてください。



- ⑧ ロックオフデバイスのレバーを閉じ、シートベルトを固定する。



警告

シートベルトが確実に固定されているか確認してください。固定されていないと事故時に重大な傷害を負うおそれがあります。



注意

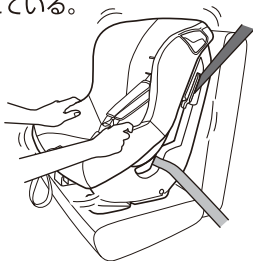
可動部分に指や物を挟まないようにしてください。

車への取り付け(前向き)

9 取り付け後の確認

下記内容をチェックし、チャイルドシートがしっかり固定されていることを確認してください。正しく取り付け付けられていない場合は、最初からやり直してください。

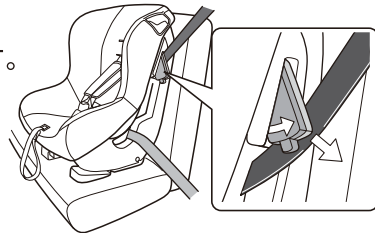
- Ⓐ車のバックルとタンクが正しくロックされている。
- Ⓑシートベルトがロックオフデバイスの赤色側を通り固定されている。
- Ⓒシートベルトにねじれやたるみがない。



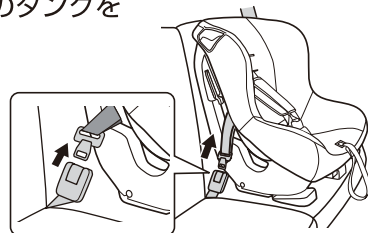
ご使用に際しては、定期的にお車のシートベルトの緩みがないか確認し、緩みがあれば再度取り付け直してください。

車からの取り外し(前向き)

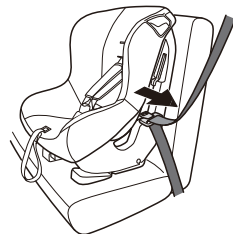
- 1 ロックオフデバイスのレバーを開き、シートベルトを外す。



- 2 車のシートベルトのタンクをバックルから外す。

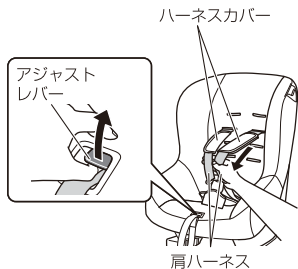


- 3 反対側のベルト通し口からシートベルトを引き出す。



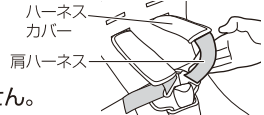
お子さまをチャイルドシートに乗せる

- ① アジャストレバーを
引き上げながら、
肩ハーネスを引き出す。

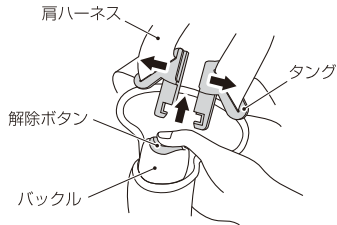


アドバイス

肩ハーネスを引き出す際には
カバーではなく、ハーネスを持って
引き出してください。
カバーを引っ張っても、引き出せません。



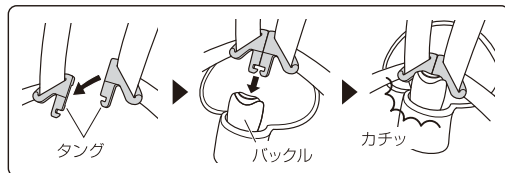
- ② 解除ボタンを押して
バックルからタングを外し、
肩ハーネスを
左右に広げる。



注意

可動部分に指や物を挟まないようにしてください。

- ③ お子さまをチャイルドシートの上に深く座らせ、
肩ハーネスをお子さまの肩にかけ、
左右のタングを合わせ、
「カチッ」と音がするまでバックルに差し込む。



警告

タングがバックルに正しく結合されていないと、
衝突時や急ブレーキ時などに、お子さまがチャイルドシート
から飛び出し、重大な傷害を負うおそれがあります。

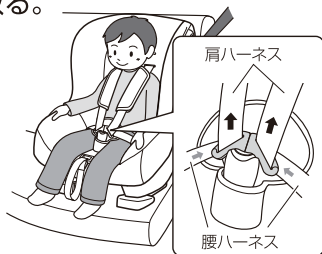


アドバイス

・タングを引っ張り、タングとバックルが
正しく結合されていることを確認してください。
・極端に厚い上着を着ている場合は、脱がせた状態
でお子さまを座らせてください。

お子さまをチャイルドシートに乗せる

- ④ 肩ハーネスを引っ張り、腰ハーネスのたるみを取る。



- ⑤ ハーネスアジャスターを引き、お子さまの鎖骨と肩ハーネスに指一本が入る程度まで、肩ハーネスのたるみを取る。

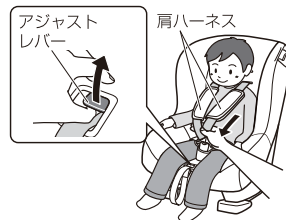


警告

ハーネスに緩みやねじれがないようにしてください。ハーネスとお子さまの間に余分なすき間があると、衝突時や急ブレーキ時などに、お子さまがチャイルドシートから飛び出し、重大な傷害を負うおそれがあります。

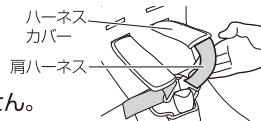
お子さまをチャイルドシートから降ろす

- ① アジャストレバーを引き上げながら、肩ハーネスを引き出す。

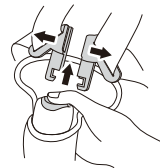


アドバイス

肩ハーネスを引き出す際にはカバーではなく、ハーネスを持って引き出してください。カバーを引っ張っても、引き出せません。



- ② 解除ボタンを押してバックルからタングを外し、肩ハーネスを左右に広げる。



注意

可動部分に指や物を挟まないようにしてください。

- ③ お子さまをチャイルドシートから降ろす。

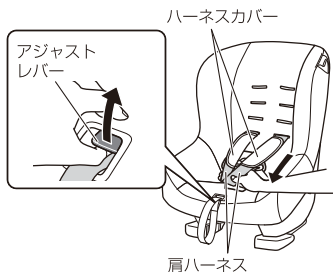


カバークッション類の取り外し



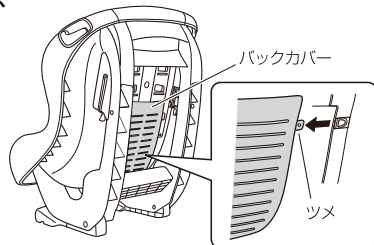
記載された以上の分解や部品の取り外しは行わないでください。故障の原因となります。

- ① アジャストレバーを引き上げながら、肩ハーネスをすべて引き出す。



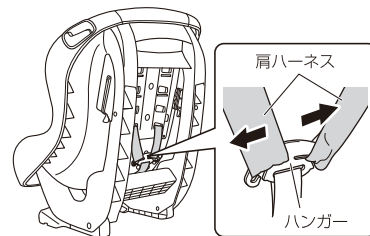
肩ハーネスを引き出す際にはカバーではなく、ハーネスを持って引き出してください。カバーを引っ張っても、引き出せません。

- ② 背面のバックカバーのツメ(4か所)を外し、バックカバーを取り外す。

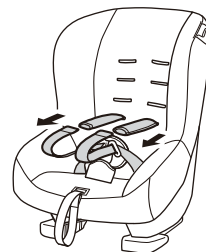


35

- ③ 背面にあるハンガーから肩ハーネスを外す。



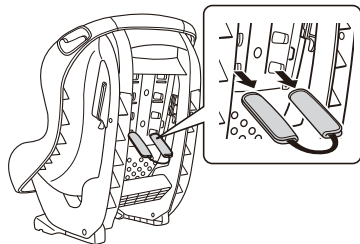
- ④ 正面から肩ハーネスを引き抜く。



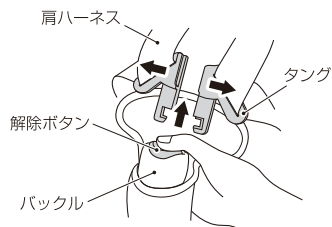
36

カバークッション類の取り外し

- ⑤ 背面からハーネスカバーを
引き抜く。



- ⑥ 解除ボタンを押して
バックルから
タングを外す。

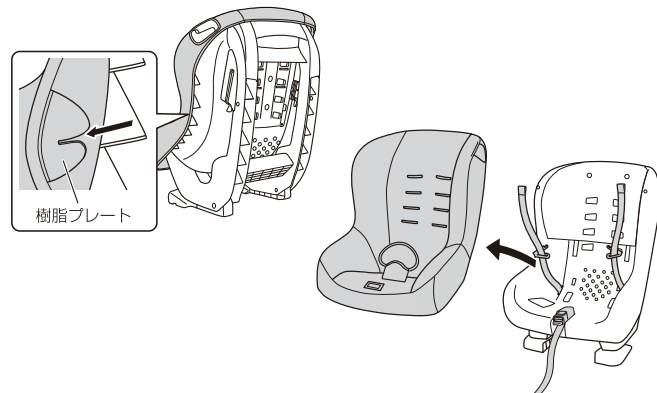


可動部分に指や物を挟まないようにしてください。

- ⑦ ハーネスアジャスター
末端の
ホックを外す。



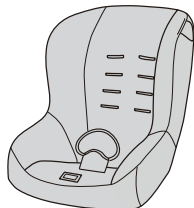
- ⑧ シートクッション側面の樹脂プレートを外し、
シートクッションを取り外す。



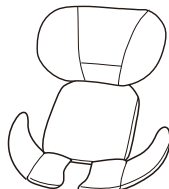
各部のお手入れ

洗える部品

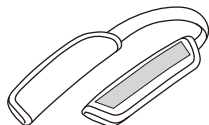
○シートクッション









○インナークッション



○肩ハーネスカバー



中性洗剤を使用して、
手で押し洗いしてください。
洗った後は日陰で
干してください。

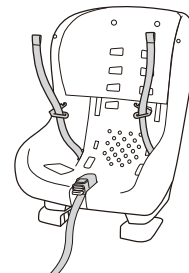
	液温は 40℃を限界とし 手洗いしてください。
	漂白剤は 使用しないでください。
	タンブル乾燥は行わ ないでください。
	日陰で 干してください。
	アイロン掛けは しないでください。
	ドライクリーニングは しないでください。



洗濯後は、完全に乾燥させてからご使用ください。

洗えない部品

○チャイルドシート本体



プラスチック部、ハーネスは
固くしぼった布で水拭きしてください。
コーションラベル(シール)部は
乾いた布で乾拭きしてください。



シンナー等の有機溶剤は使用しないでください。
部品の破損や強度部品を傷めるおそれがあります。

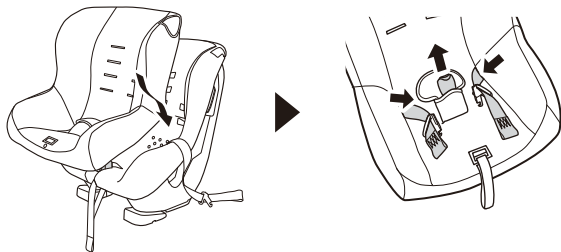
カバークッション類の取り付け



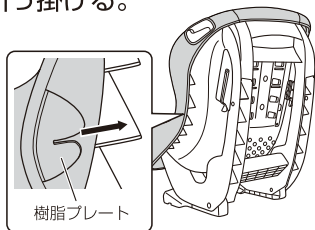
警告

柔軟材料(カバークッション類・発泡材)や構成部品を取り外した状態での使用、指定部品以外のものと取り換えての使用は行わないでください。

- ① シート本体にシートクッションを被せ、バックル、ハーネス類を通す。

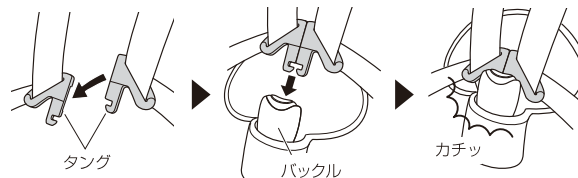


- ② シートクッションをシート外周に掛け、側面の樹脂プレートを引っ掛ける。

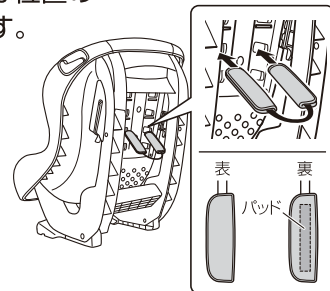


41

- ③ 左右のタングを合わせ、「カチッ」と音がするまでバックルに差し込む。



- ④ 背面よりハーネスカバーを適切な位置の肩ハーネス通し穴に通す。



アドバイス

ハーネスカバーには表裏があります。パッドを裏(お子さまの肩に当たる)側にしてください。

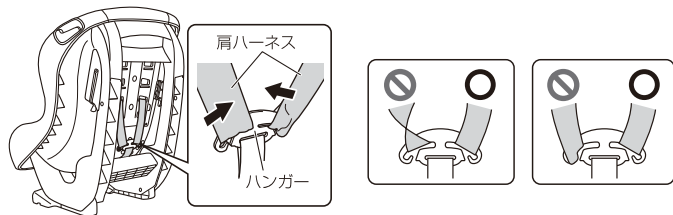
42

カバークッション類の取り付け

- ⑤ 肩ハーネスをハーネスカバー、
肩ハーネス通し穴に通し、
背面より引き出す。

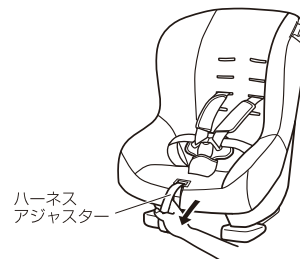


- ⑥ 肩ハーネスのねじれや半がかりが無いように、
ハーネスをハンガーにかける。

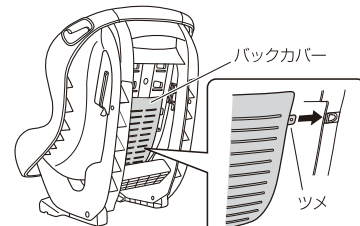


警告 肩ハーネスをハンガーに正しく取り付けていないと、
事故時にハーネスが抜けるなどして、
重大な傷害を負うおそれがあります。

- ⑦ ハーネスアジャスターを引き、
ハーネスのたるみを取る。



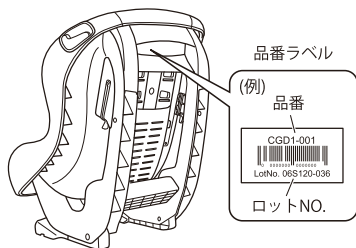
- ⑧ バックカバーのツメ(4か所)を
差し込み取り付ける。



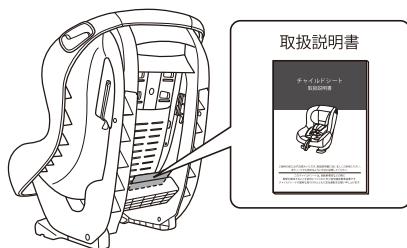
注意 バックカバーが正しく取り付けしていない場合、
事故時に十分な機能を発揮しない可能性があります。

補修部品について

お買い上げの販売店またはお客様相談室(0120-70-5441)までご連絡ください。お問い合わせの際は、スムーズな対応が行えますよう、チャイルドシート背面に貼ってあるラベルの品番を必ずお伝えください。



取扱説明書は
図示の場所に入れて
大切に保管してください。



Joyson Safety Systems Japan K.K.

ジョイソン・セイフティ・システムズ・ジャパン 株式会社

商品についてのお問い合わせ・お客様相談室

 **0120-70-5441**

受付時間 am10:00～pm5:00 祝祭日を除く月～金曜日

www.joysonsafety.com